

10月22日（火） 5年奈良新聞社記者の方のお話を聞きました

10月22日（火）に、奈良新聞社の記者の方がお見えになりました。本校では、今年度からNIE（Newspaper in Education＝「エヌ・アイ・イー」と読みます。学校などで新聞を教材として活用する活動です。）に取り組んでいます。今回は、5年生が、社会科の学習で、新聞記者の取材の様子について詳しくお話を聞きました。

1つ目は、富雄丸山遺跡の発掘の取材についてです。鏡や国内最大の2メートル37センチの大きな蛇行剣が出土し、考古学の発掘調査でもすごい注目され、大きく新聞一面に写真を載せて扱ったお話でした。

2つ目は、2011年台風12号の被害を取材したお話でした。現地の被害をなんとか伝えたいと思い取材をしたそうです。浸水している中、土砂崩れもあり、歩いて取材を続けられました。国道も土砂で埋まり、集落も土砂に飲み込まれました。命がけの取材だったそうです。

その後、5年の子どもたちが、質問を記者の方にしました。現場で起こっている出来事を、読者に伝えたいという思いがあることをおっしゃっていました。実際に、取材をしている様子をお話いただき、一つ一つの記事に、大変な苦労や思いがあることが分かりました。また、新聞を書く時に、正しい情報を書くこと、文章も読みやすく分かりやすく書くこと、写真や図なども大切だと教えていただきました。今後の自分たちの新聞作りにも役立てていきたいです。

